

2020年度理事会（総会）議事録

日 時：令和2年1月26日（日）13：30～16：15

場 所：クーポール会館 5階会議室

出席者：定数81名のうち 出席60名 委任状11通 2/3以上出席（成立宣言）

驚頭会長挨拶

昨年度の静岡県連盟の事業につきましては、皆様のご協力によって無事、終えたことに改めてお礼申し上げます。特に東日本選手権大会では、県内6会場で行われましたが大変暑いなか、それぞれの協会にお手伝いいただきながら、事故もなく成功に終わったことを嬉しく思っております。その反面、西日本小学生選手権大会については、台風の影響で中止せざるをえなかったことを大変残念に思っております。2020年度の会場につきましては、交通手段などによるアクセスが不便という意見もあり、草薙で行うことに決定いたしました。先般、伊東市長にお詫びかたがたご了解を得たところです。

そして、2020年8月に全国中学校体育大会が行われますので、連盟としてもお手伝いしながらソフトテニスの普及に努めていきたいと思っています。

大会成績については、中学生・小学生・ジュニアの成績が多くはないが結果を残せたのではないかと思います。特に全国中学校体育大会では団体3位という結果に大変嬉しく思っております。一般の成績が残せないことについては、連盟の課題だと受け止めております。全日本・国体など含めて競技力向上に何か良い方法がないか、指導者を含めて今後考えていきたいと思っております。

1 日本ソフトテニス連盟評議員会報告（小林理事長）

理事会資料に基づき日連評議員会全般を説明

(1)資産（テニスコート）取得について

ソフトテニスの振興、強化の拠点施設を取得することを目的に福島県白川郡棚倉町に砂入り人工芝10面、ハードコート16面（内インドア4面）を購入した。現在改修中であるが、今後の活用については、一般開放を含めて検討中である。

(2)東日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会における不正試合の件について

令和元年6月30日に行われた大会で「ダブルスで試合を行い、その勝者をシングルの勝者とした」、「他の選手を自分の代わりに出場させた（替え玉）」、「試合を行わずじゃんけんで勝者を決めた」等々、常識では考えられない状況で試合が実施されたことが判明した。学生のみ問題だけでなく、運営や組織に問題があるということで、処置についてはもう少し時間がかかる。

(3)ワールドマスターズゲームズ2021関西について

国際マスターズゲームズ協会が4年ごとに主宰する中高年を対象にした国際総合競技大会である。第10回目の大会となる2021は日本の関西を会場にアジアで初めて開催され、ソフトテニス競技が福知山市で行われる。参加費は15,000円である。参加要項等は別途公表される。

(4)教員の実業団選手権大会への出場について

教員（常勤講師含む）（以下、教員という）を都道府県庁職員あるいは市町村職員とみなし、実業団チームへの会員登録により実業団選手権大会等への参加が可能である。

所属できる団体は、都道府県立学校の教員は、都道府県庁職員とみなす。

市町村立学校の県費負担教員は、都道府県庁職員とみなす。

市町村立学校の市町村費負担教員は、当該市町村職員とみなす。

私立学校の教員は対象外とする。

非常勤講師、実習助手は対象外とする。

※学校とは、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校

※教員とは、校長から講師（常勤）まで。

実業団選手権大会等へ出場を希望される教員は、必ず年度当初の会員登録を該当の県、市町村団体へ行う。会員登録を年度途中で変更した場合は、その年度の大会には出場できない。

↑クラブ選手権も同様である。

(5)日本リーグと実業団リーグの入替戦について

日本リーグの下位2チームと日本実業団チーム上位3チームにより行うこととなった。従来は日本リーグの下位2チームと日本実業団チーム上位2チームの4チームにより入替戦を行い、上位2チームが日本リーグに入っていたが、今年度からは5チームが入替戦を行い上位2チームが日本リーグへ入る。

(6)令和2年強化選手について

全日本U-14チームに田畑蘭選手（浜松市立浜北北部中学校）が選ばれた。

(7)公認事業者の辞退

ナイキジャパン（ユニフォーム）、ティーエムシー（ラケット）、住友ゴム（ストリング）の3社が退会。令和2年度内までの使用は認められる。

(8)横断幕の大会での活用について

環境とマナーの横断幕をいろいろな大会で活用していただきたい。最近、小学生や小学生の監督のマナーが悪化しているため、西日本小学生大会や全国中学校大会での活用をぜひ行っていただきたい。

(9)日本ソフトテニス連盟表彰者

- ・支部功労者 松浦和彦 氏（焼津市ソフトテニス協会）
故 中山元康 氏（掛川・小笠ソフトテニス協会）
- ・支部優良団体 静岡ガス（静岡市ソフトテニス協会）

(10)スポーツガバナンスコードについて

スポーツ庁から中央団体(日連)に対して、適切な会計処理、コンプライアンス意識の徹底、組織・運営の透明性の確保等に関する計画策定とその進捗管理が厳しくなっている。いずれ、地方団体にも影響がある。

2 2019年度事業報告（小林理事長）

理事会資料に基づき2019年度事業報告全般を説明。

(1)大会に関する事業

- ・東日本選手権大会（6会場） 7/20(土)～21(日) ペアの出場数1070
- ・西日本小学生選手権大会（小室山）10/12(土)～13(日) 台風のため中止
- 令和2年、3年の会場は草薙と有度山で行われる。
- ・雨天等で中止の事業について

3/3 静岡県地区対抗戦、9/8 神奈川県静岡県対抗戦、10/12 西日本小学生選手権大会、11/3 近県成年シニア静岡大会(コート改修)が中止となった。

(2)選手強化育成に関する事業について

- ・国体の強化事業では、成年女子がヨネックスの森田選手を招き指導を受けた。

・競技者育成プログラムでは、各 Step、各カテゴリーで強化練習を行った。

(3)指導者育成に関する事業について

- ・日本連盟主催の「令和元年度小中高校指導者研修会」へ静岡県から小中高各1名参加。
- ・公認スポーツ指導員研修会を2回（掛川・富士）開催した。

(4)会員登録に関する事業

会員数の比較について2019年度は15,923名、前年度16,630名、707名の減少である。15,923名のうち11,945名が中学生（中体連）である。各協会では会員数の増加に努めていただきたい。（昨年6月に静岡県体育協会の総会資料の中に、県内競技団体の人口調査結果があった。49競技のうちソフトテニスの競技人口が上から6番目であった。内訳は、サッカー39,000人、硬式テニス30,000人、軟式野球23,000人、バスケット21,000人、バレーボール18,000人、ソフトテニス17,000人。）

(5)2019 表彰者に関して

（公財）日本スポーツ協会 優秀指導者として石原達夫氏が表彰された。他は記載の通り。

3 2019 年度収支決算報告（小林理事長）

理事会資料「令和元年度収支決算書」により、予算と決算の差額が多い項目を中心に説明。

(1)収支の主な増減

<収入の部>

- ・大会参加料の県地区対抗戦と近県大会支出が中止となったため収入減。
- ・審判、技術等級の申請が多かったため収入増。
- ・国民体育大会参加費について、2種別の参加を予定していたが1種別となった。総合開会式参加及び宿泊費の高騰により予算額通りとなった。

<支出の部>

- ・県地区対抗戦、近県大会、神静大会が中止となったため支出減。
- ・国民体育大会関係費について、本大会2種別予定していたが1種別となったため支出減。
- ・国際親善活動費については活動がなかったため支出減。
- ・競技者育成プログラムについては、活動による旅費等がかさみ支出増。
- ・管理費の旅費交通費については、全国大会への視察が減ったため支出減。

(2)東日本選手権大会収支決算書 別紙にて説明

(3)西日本小学生選手権大会収支決算書

別紙にて説明。12月末の時点では雨天に伴う返金は不要とのことだったが、西日本小学生連盟より残額を返金するよう要望があった。594,000円を各府県に返金する。

4 2019 年度収支決算監査報告（栗山監事）

令和元年12月8日掛川市総合体育館「さんりーな」において監事3名で2019年度の監査を行った。通帳、領収書など関係書類を確認した結果、適正に処理されていたとの報告があった。

<事業報告、収支決算報告について、承認された。>

5 2020 年度静岡県連盟事業計画（案）提案（小林理事長）

理事会資料に基づき令和2年度静岡県連盟事業計画（案）」全般を説明。

(1)西日本小学生選手権大会の実施について、予算作成、役員選考等の調整を図り万全を期す。

- (2)11/8（日）東海シングルス選手権大会を花川運動公園で開催する。
- (3)8/18（火）～20（木）静岡県開催の全国中学校体育大会を支援し、補助金を支出する。
- (4)神静大会、山静大会について実施要否を含め検討する。
- (5)一部大会を集約し効率化を図る。（県混合選手権など）
- (6)ゼッケン着用、簡易得点版の有効活用を行い、見ても楽しめるソフトテニス競技を目指す。
- (7)大会審判のワッペン着用を徹底する。
- (8)環境とマナーの横断幕を大会で活用する。

6 2020年度収支予算（案）提案（小林理事長）

理事会資料「令和2年度収支予算書（案）」により概要を説明。

(1)収支の主な増減

<収入の部>

- ・支部分担金及び会員登録金は、昨年の理事会で承認された金額をもとに算出したため収入減。
- ・大会参加料について昨年度中止となった県地区対抗戦と近県大会、小学生の大会参加料の値上げにより収入増。
- ・東海地区大会については、東海シングルスのみのため収入減。
- ・審判、技術等級は会員数減少のため収入減。
- ・国体の会場が鹿児島であり、2種別出場予定で算出しているため収入増。
- ・スポーツ指導員講習会の会場確保ができなかったため1回の開催となり収入減。

<支出の部>

- ・昨年度中止の県地区対抗戦と近県大会、神静大会の実施を予定。山静大会は静岡開催のため支出増。
- ・東海地区大会については、東海シングルスのみのため支出減。
- ・スポーツ指導員講習会の会場確保ができなかったため1回の開催となり支出減。
- ・管理費の旅費交通費については、全国大会等があるため支出増
- ・表彰費は70周年記念などのため支出増。

(2)中学生強化費の値上げについて（小野副会長）

11月から3月までの長期間、県選抜の活動に向けて指導しているが、ブラック部活動により中学校の先生方の部活指導が厳しい状況にある。スタッフを確保することが年々難しくなっており、スタッフへの旅費等の支払いに毎年未払いが発生している状況。

※県連盟強化費予算 800,000円→1,200,000円への引き上げ要請あり、認めることとした。（40万円の値上げ）

令和3年度以降中学生の会員登録料を上げる方向とし、予算確保を行う。中学生 700円（日連 500円・県連 100円・中体連 100円）→中学生 1,000円（日連 500円・県連 250円・中体連 250円）来年のこの会で議案となり理事会の議決事項となるため、値上げの時期は令和3年度からとなる。4/1の会員登録システムを開いたときに新しい会員登録料になる。

(3)2020西日本小学生ソフトテニス選手権大会収支予算書

- ・返金前（594,000円）の収支予算書となっている。
- ・予算書を修正

収入	4.助成金	300,000円→助成金・協賛金	894,000円
支出	14.返金分	594,000円追加	
合計	【修正前】	2,090,880円→【修正後】	2,684,880円

- ・不足が発生した場合、役員の皆様にも協賛金をお願いするか予備費から算出するか検討する。

(4)国際親善活動費

昨年度は、焼津高校がモンゴルで開催された国際ジュニアソフトテニス大会に代表チームとして参加し国際交流を深めた。費用については全て焼津市が負担している。来年度は、韓国の中学生在が静岡県へ訪問し国際交流の要望がある。受入れ先の中学校へ行きホームステイしながらの交流を考えている。

(5)支部大会申込システムの効率的運用について

シニアの方から各協会へ大会の申込依頼があったら、ぜひ協力をしていただきたい。また、各市町の協会がコードを持っているので、その支部の代行申込で入ることができる。事務局長の個人の会員番号から代行申込ができるようになっているので利用していただきたい。

<事業計画、予算（案）について、承認された。>

予算書「支出の部」を修正 中学生強化費 1,200,000 → 1,600,000 円

支出計 28,030,000→28,430,000 円 予備費 5,432,534→5,032,534 円

7 2020 年度大会日程の変更

- (1)4/4（土）沼津選手権大会（シニア）予備日【誤】4/18→【正】4/11

(※4/18 が正しいことが後日分かった。)

- (2)8/25（火）県高校学校対抗戦（女子団体）→削除

- (3)レディース東部練習会 【誤】12/13（日）愛鷹→【正】12/19（土）沼津市民体育館

- (4)12/20（日）Step-2 U-14 強化練習会→削除

- (5)12/25（金）Step-2 U-17 強化練習会→削除

- (6)ハイスクールジャパンカップ 【誤】3/7（日）予備日 3/13→【正】3/13（土）予備日 3/14

- (7)ヨネックスワールドチャレンジ 6/14(日) 花川

ヨネックス主催。世界の一流選手と交流の機会、参加者等については今後検討し、連絡する。

8 全体についての意見・要望等

- (1)令和2年度全国中学校体育大会について（小野副会長）

- ・雨天時の競技会場については、オリンピック・パラリンピックの関係で協働センター（公民館）の体育館で行われる。
- ・協賛金については原則 5,000 円となっているがいくらでもよい。
- ・大会運営については、役員としては県連からは会長・理事長。補助役員や競技役員については中学校の教員や生徒で行う予定である。

- (2)令和2年度県中学生選手権について（太田中学生部長）

- ・参加枠について男子の静岡清水は合同で 12 枠。女子は静岡清水が統一大会となった場合は 15 枠となる。
- ・県中学生選手権の当日に修学旅行等の学校行事が予定されていて、参加できないペアについては、出場選手から外し、各支部の順位を繰り上げて登録する。

- (3)モンゴルとの交流について（焼津協会久保田氏）

令和2年11月頃にモンゴル国より1週間ほど滞在で焼津市に訪問し交流が予定されている。

- (4)第1回全日本ミックスダブルス選手権大会について（漆畑事務局長）

令和2年6月20日から21日に大分県大分市で開催予定。種別は一般から70までとなり、一般

についてはハードコードで行い、優勝者はナショナルチーム日本代表のミックスダブルスの選手となる。静岡県は20ペア出場可能であるが、技術等級2級以上と審判資格がないと出場できない。

(5)名称変更(小林理事長)

令和2年4月1日より、(公財)静岡県体育協会→(公財)静岡県スポーツ協会へ変更する。

閉会挨拶(落合副会長)

一般の成績が思わしくありませんが、小中学生で静岡から全日本の選手に選ばれて期待をしても、上手な選手が中学・高校で静岡から他県へ出てしまう。国体等で勝つにはこの点も痛いところです。

本日は、長時間にわたり、ご協議ありがとうございました。意見があれば活発に議論をし、決まったことは皆で協力していきたい。

理事会終了後、2019年度功労者、優良団体、ランキング、優秀団体等の表彰を行った。

以 上